

木葉天目

木葉天目の魅力は人間の力では出来ない
自然の造形を器に落とすことです。

特に酒の入った杯、水を張った水盤などには一層引き立ちます。



電気窯焼成



透かし彫り

生地成形

紋様のあたり付け(六角形)の線引き高樓は4~6ミリ、
ランプシェードは8ミリ程度、定規で引きます。

三角針で彫刻を入れます。

剣先で紋様を六角に切っていきます。



剣先を始め、
彫刻道具は全て手作りです。



染付

天然の呉須は現在希少で一般には手に入りませんが、現在使用されている人工の呉須は一般にコバルト、マンガン、カオリン、鉄等を調合したもので、藍の発色はコバルトです。

私はこの呉須を乳鉢に入れ、筆の伸びを良くするためにお茶でよく擦ります。

人によっては「のり、ガムシロップ」を少々入れる方もいます。素焼き作品に水分を与えてさらに筆の伸びを良くします。



炭火焼

ガス窯焼成

サヤ鉢の中に稲穂、籾、炭、灰等を入れて
萩の大道土を使用しました。



薪窯

増穂登り窯(山梨県南巨摩郡富士川町)

故池光寿夫氏と現在の窯主太田治孝氏が創設した窯場で全国からプロ、アマチュアに開かれています。

展示作品は七十五時間の焼成です。



塩窯

円釉焼成は焼成途中で塩を窯の中に入れます。そのために窯を痛めますので、専用の窯で焼きます。

塩投入時期塩素ガスも一時的に発生しますので、住宅地での焼成はできません。



陶房

八王子工房

八王子市小比企町 1895-4

大月工房

木漏れ日の家

大月市初狩町初狩

2 3 2 8 - 40



ギャラリー 花ゆら(八王子市)

お問い合わせ： 042-637-2527

<http://kino-kikaku.com>

(検索→木野工房)